



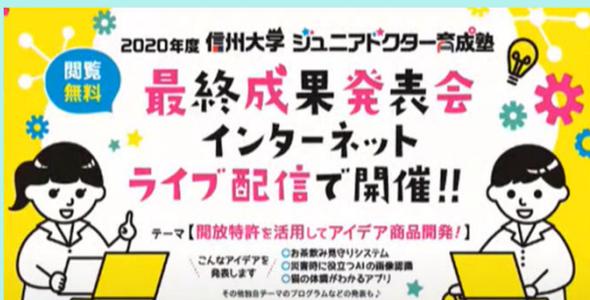
主催：信州大学 附属次世代型学び研究開発センター-QR FabLab長野 協力：長野県教育委員会、(株)アソビズム、MITメディアラボ・ライフロンギンダーガーデングループ

育成塾通信 No13. 2021.3.20発行

育成塾とは、国立研究開発法人 科学技術振興機構による「科学技術イノベーションを牽引する傑出した人材の育成に向けて、理数・情報分野の学習等を通じて、高い意欲や突出した能力を有する小中学生を発掘し、さらに能力を伸長する体系的育成プランの開発・実施を行うことを支援」するジュニアドクター育成塾事業として、2019年から信州大学が採択されたものです。

第14回 第2期 最終成果発表会

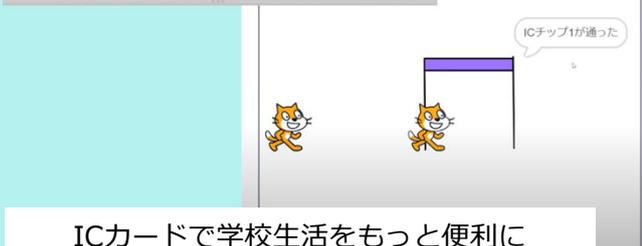
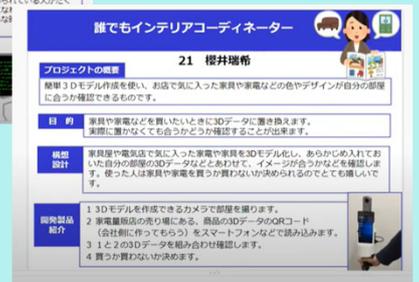
富士通提供の開放特許をもとにしたアイデア商品の研究、または独自のテーマでの研究の個人制作の最終成果発表がありました。発表はすべてオンラインで行われ、受講生は自宅からプレゼンテーションや制作のデモンストレーションを行いました。



制作や構想をもとにスライドやscratchなどのデモンストレーションをもとに説明を行いました。開放特許を自分なり工夫して新しい商品を構想していたり、自分の困りごとに焦点を当て、作品で解決しようとしたりする様子が見られました。

また、画像認識システムを使用したり、UXデザインを意識していたりと、講座で扱ったことも活用されていました。

発表後は受講生同士、先生方、企業の方々から質疑応答がされました。質疑応答の中で「もっとここを改善してみたい」とさらに具体的な展望を伝えてくれる受講生もいました。受講生の皆さんの柔軟な発想は、富士通の社員の方々もこの発想はなかった！と驚かれておりました。



ICカードで学校生活をもっと便利に

安全包丁



STEP 2 : 今年度ジュニアドクター育成塾修了式

今年度すべてのジュニアドクター育成塾はすべて日程が終了しました。それに伴いまして修了式をオンラインで行いました。受講生全員に信州大学学長名による修了証を授与するとともに、全員から7ヶ月間の講座を終えての感想などを述べてもらいました。それぞれ多くのことを学んだり、次の意欲も出てきたようで、よかったです。最後は恒例の全員で記念撮影をしました。



成果発表会表彰

開放特許部門 最優秀賞・富士通賞

- 坂本 知優 「ICカードで学校生活をもっと便利に」
- 牛谷 雅 「Webサービス printkun.com の開発」

開放特許部門 優秀賞

- 櫻井 瑞希 「誰でもインテリアコーディネーター」
- 竹松 奏太 「方言翻訳機」
- 丸山 史織 「猫の体調がわかる」
- 勝又 悠貴 「3Dモデルで世界遺産・観光地・見学」

アイデア賞

- 辻本 匠 「Sushi The Touch」

賞を受賞された皆さんには、富士通様から副賞が贈呈されました。また、惜しくも賞にならなかった皆さんにも参加賞が授与されました。

協賛 (株)富士通様

独自テーマ部門 最優秀賞

- 林 かれん 「癒されるアプリ」
- 籠田 御空 「車酔い止めアプリ」
- 中澤 健太 「身元確認ソフト」

技術賞

- 山崎 陽大 「安全包丁」

ユーモア賞

- 尾名高 逸純 「おやつ食べすぎ防止アプリ」

特別協力 信濃毎日新聞社様



編集後記

8ヶ月に渡る第2期ジュニアドクター育成塾が終了しました。今年度はコロナ禍もあり、当初計画したような講座はできませんでしたが、修了式での受講生の皆さんの声を聞くと、実施してよかったと思いました。この学びが受講生の皆さんの今後に少しでもお役に立てば嬉しいです。受講生の皆さんのご活躍を祈念いたします。またお会いしましょう。



信州大学ジュニアドクター育成塾事務局連絡先 メール) crilofc@shinshu-u.ac.jp
Webサイト) <https://cril-shinshu-u.info/jr-doc>

本事業は国立研究開発法人科学技術振興機構の委託事業です